



# 瀬戸内シクロクロスシリーズ2023-2024【第4戦】 第1回愛南シクロクロスin長洲園地 2024.03.10



青空の広がった3月10日(日)、「愛南シクロクロスin長洲園地」が初開催されました。

「瀬戸内シクロクロスシリーズ」として開催された今大会は年齢や性別、熟練度で分ける7つの部門と、4人までのチームで挑戦する耐久レースが行われ、キッズからベテランまで、延べ150人の選手が参戦しました。

シクロクロスは距離ではなく時間制で行われ、コース上には急斜面や階段と言った障害物がところどころに設けられています。ひたすらにペダルをこぎ続けるだけでなく、自転車を押ししたり担いだり、技術と体力の熱いぶつかり合いが繰り広げられます。

日本庭園の長洲園地に突如出現した約1.2kmの特設コースは、プロライダーの門田基志もとしさんが監修。舗装・未舗装路が入り混じり起伏に富んだ難コース、さらには雑草や砂利が容赦なくハンドルを奪い、時には転倒しながらも全ての参加者が歯を食いしばり己の限界に挑み続けました。

町外から参戦し、レディースクラス優勝を果たした合田史子ふみこさんは、「日本庭園がコースになり池の周りを走ることができレースは初めてでした。コース途中から眺める景色がきれいで気持ちよく走り切れた」と感想を延べ、応援してくれたお子さんと表彰台に上がりました。





町内からは、小学生や商工会青年部、役場職員組合、消防チームなど初挑戦の競技にも関わらず多数の参加がありました。90分耐久レースでは、一人一人が魂の力走で自転車をつなぎ、過酷なレースを懸命に走り抜いた選手たち。仲間や観客からの声援が大きな後押しになりました。



互いの健闘をたたえ合う最高の笑顔が咲き誇った長洲園地。存分に大会を楽しんだ選手たちは、第2回大会の開催に大きな期待を寄せていました。